

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・地歴（地理）問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 1 この問題は6問6ページで、時間は60分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 地理歴史（地理）

1 次の（１）～（１０）の問いに答えよ。

- （１） 都市部が郊外よりも気温が高くなる現象を何というか，記せ。
- （２） 世界経済や流通システムのひずみにより，生産物に対する正当な報酬が得られない人々や地域に対して，対等なパートナーシップによる公正な賃金を支払い，自立することを目指す貿易を何というか，記せ。
- （３） 山麓などの地下水が豊富な場所から，集落や耕地まで多数の縦穴を掘り，それらの底を横穴で結んでつくる施設をイランでは何というか，記せ。
- （４） 文帝（楊堅）が598年に開始した科目試験による官僚登用制度を何というか，記せ。
- （５） アッバース朝の第2代カリフのマンスールが首都として造営した円形の都市を何というか，記せ。
- （６） フランス自然主義の画家で，パリ郊外のバルビゾンで自ら農業をしながら，農民の姿を描き続け，代表作「落ち穂拾い」を描いたのは誰か，記せ。
- （７） 後鳥羽上皇の命により，藤原定家・藤原家隆らが選集し，新しい歌風を示した和歌集を何というか，記せ。
- （８） 1582年，伊東マンショ・千々石ミゲルら4人の少年がローマ教皇のもとに派遣され，1590年に帰国した。この少年使節を何というか，記せ。
- （９） 1871年，日本と清が相互に開港して領事裁判権を認め合うことなどを定めた日本が外国と結んだ最初の対等条約を何というか，記せ。
- （１０） 1960年に産油国の利益を守るため，イラク，イラン，クウェート，サウジアラビア，ベネズエラによって結成された国際組織を何というか，組織の略称をアルファベットで記せ。

2 次の（１），（２）の問いに答えよ。

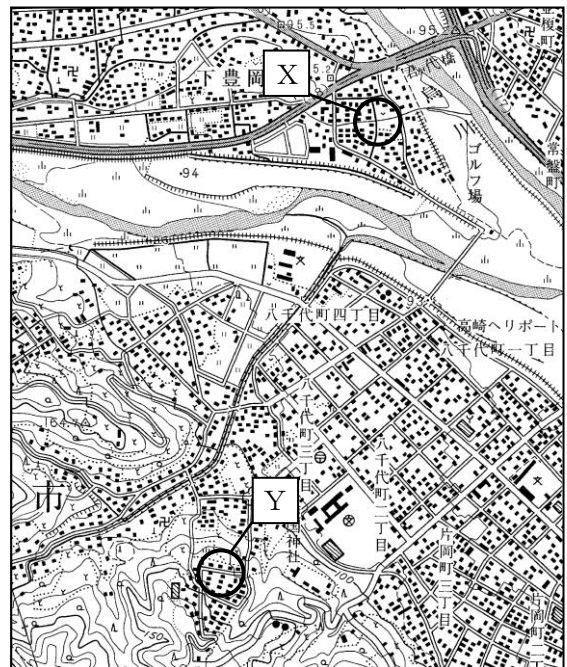
- （１） 社会増加と自然増加について，その要因を明らかにして85字以内で説明せよ。
- （２） ジェントリフィケーションについて，70字以内で説明せよ。

3 次のA～Dの文章を読み，（1）～（5）の問いに答えよ。

- A ①沖積平野の周縁部には，高さ2～3mから数十m以上の崖に囲まれた台地や小山のような丘陵が分布することがある。
- B 1569年にメルカトルが考案した②メルカトル図法は，つねに北が真上になり，任意の2点を結ぶ直線は（あ）航路となる。また，図の中心からの距離と方位が正しく表されるよう作図された地図は，③正距方位図法とよばれる。
- C 亜寒帯（冷帯）は樹木が育つ気候のうち，最も寒冷な地域である。カナダやシベリアの地下には，一年中土壌が凍結している（い）がある。低温で未分解の落ち葉は土壌の表層で酸性の泥炭となり，酸性の水分が土を褐色にしている鉄分をとかして流し出すため，残された土壌は白っぽい（う）となる。
- D 世界全体をみると，④食料の需要と供給には著しい偏りがある。豊富な食料に恵まれた地域もあれば，食料不足や飢餓に苦しむ地域もある。カロリー摂取量が少なく，栄養不足に苦しむ人口の割合が高い地域がある一方で，⑤緑の革命のような努力が行われ，成功をおさめた国もある。

（1）文中の（あ）～（う）に適する語句を，それぞれ記せ。

（2）文中の下線部①に関して，右の地形図中のXとYは，洪水浸水想定区域か土砂災害警戒区域のいずれかに含まれる地域である。XとYは，どちらの区域であるかを，それぞれ記せ。また，それを調べる際に活用する地図の種類を，記せ。



（国土地理院発行 1:25000 地形図「富岡」（2003年）より作成）

(3) 文中の下線部②, ③に関して, 次の文はメルカトル図法, 正距方位図法, モルワイデ図法のいずれかについて述べたものである。メルカトル図法について述べたものを, 次のア～エからすべて選び記号で記せ。

- ア. 羅針盤を使った航海用の図法で, 現在でも海図に利用される。
- イ. 正積図法であり, 分布図の基図として利用される。
- ウ. 地球上の角度の関係が, 地図上でも正しく表現できる正角図法である。
- エ. 世界全図の場合, 外周円は中心に対する対蹠点^{たいせきてん}である。

(4) 文中の下線部④に関して, 次の表は, タイ, ナイジェリア, ブラジル, フランスの小麦, 米, いも類, 肉類の生産量と農作物自給率を表している。a と c に当てはまる国の名前を, それぞれ記せ。

表 各国の小麦, 米, いも類, 肉類の生産量 (万トン) と農作物自給率 (%) (2018 年)

	小麦		米		いも類		肉類	
	生産量	自給率	生産量	自給率	生産量	自給率	生産量	自給率
a	0.1	0	3,219	182	3,221	225	293	140
b	3,579	183	7	11	790	130	562	103
c	6	1	680	85	11,570	101	145	99
d	541	43	1,174	96	2,232	99	2,934	134

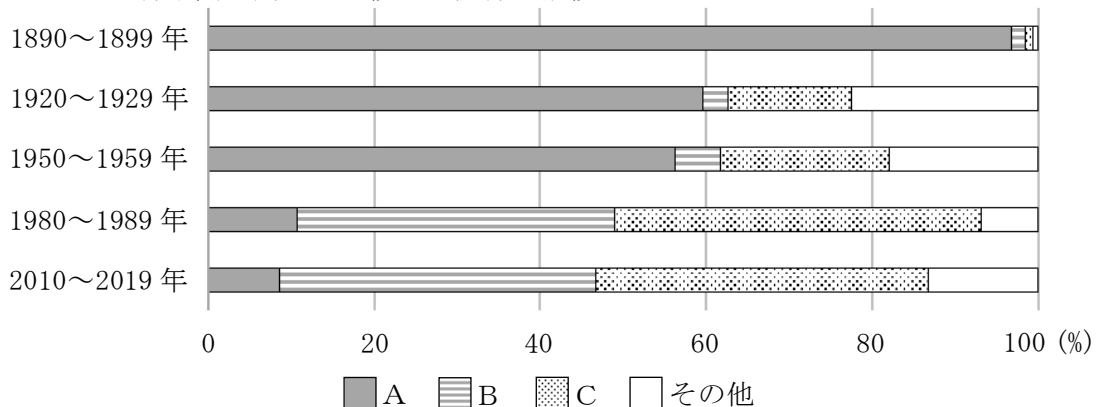
注) 自給率は生産量/国内供給量により算出している。 (「世界国勢図会 2021/2022」より作成)

(5) 文中の下線部⑤に関して, 緑の革命を説明しながら, 農民の間の経済的な格差を広げた理由を含めて説明せよ。

4 次のアメリカ合衆国に関する (1) ~ (3) の問いに答えよ。

(1) 次の図は, アメリカ合衆国の出身地別移民の割合の推移を表している。図中の A ~ C は, ヨーロッパ, アジア, 中央・南アメリカのいずれかである。B に当てはまる地域の名前を, 記せ。

図 アメリカ合衆国の出身地別移民の割合の推移



(「Yearbook of Immigration Statistics 2020」より作成)

(2) 次の文章を読み、①、②の問いに答えよ。

アメリカ合衆国の基本的な農業形態は、西ヨーロッパから導入された混合農業に飼料作物の a と とうもろこし が組み込まれて形成された。この混合農業は、それぞれの地域の自然条件などを反映して変形され、b 適地適作 とよばれる多様性をつくり出した。

① 文中の下線部 a について、次の表中の D～G は、とうもろこし、大豆、さとうきび、なつめやしのいずれかであり、その農作物の生産量上位 5 か国を表している。D～G に当てはまる農作物の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから一つ選び、記号で記せ。

表 とうもろこし、大豆、さとうきび、なつめやしの生産量上位 5 か国 (2019 年)



	D	E	F	G
1 位	ブラジル	ブラジル	アメリカ合衆国	エジプト
2 位	インド	アメリカ合衆国	中国	サウジアラビア
3 位	タイ	アルゼンチン	ブラジル	イラン
4 位	中国	中国	アルゼンチン	アルジェリア
5 位	パキスタン	インド	ウクライナ	イラク

(「データブック・オブ・ザ・ワールド 2022」より作成)

- ア. D さとうきび E 大豆 F とうもろこし G なつめやし
 イ. D さとうきび E 大豆 F なつめやし G とうもろこし
 ウ. D 大豆 E さとうきび F とうもろこし G なつめやし
 エ. D 大豆 E さとうきび F なつめやし G とうもろこし

② 文中の下線部 b に関して、アメリカ合衆国の自然条件 (年降水量 500mm) と農作物 (冬小麦・春小麦) の栽培地域について、図を用いて説明するとした場合、どのように図示するか、次の条件を満たしながら記せ。また、冬小麦と春小麦はどのような違いがあるか、播種期と収穫期の観点から、説明せよ。

(条件)

- ・年降水量 500mm の線を (-----) で示すこと
- ・冬小麦の栽培地域を  で示すこと
- ・春小麦の栽培地域を  で示すこと

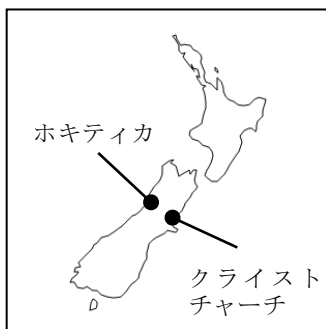
(3) アメリカ合衆国の大西洋岸のメガロポリスから五大湖沿岸にかけての地域は、20 世紀前半まで重工業を中心として発展した。この地域に重工業の工業地域が形成された理由を、55 字以内で説明せよ。その際、次の語句を必ず一度は使い、最初に使用した箇所を下線を付せ。

メサビ	アパラチア	五大湖
-----	-------	-----

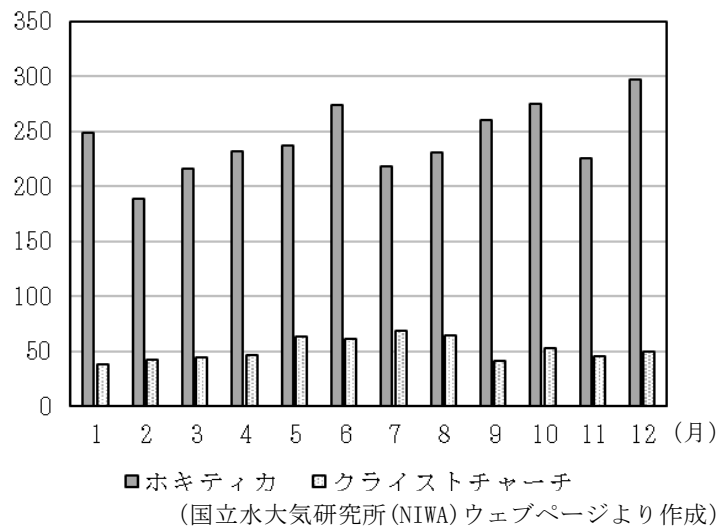
5 次のオセアニア地域に関する（1）～（3）の問いに答えよ。

- （1） 次の資料1はニュージーランドのホキティカとクライストチャーチの位置を示したものであり、資料2はそれぞれの都市の月別降水量を表したものである。クライストチャーチのある南島東側は、おもに羊の放牧地となっている。南島東側が羊の放牧に適している理由を、資料2から読み取れることとその成因について、気候因子を含めて、75字以内で説明せよ。

資料1



資料2 ホキティカとクライストチャーチの月別降水量 (mm)



- （2） 次の表は、オーストラリアとニュージーランドの輸出と輸入の上位5品目を表している。表中のI, IIはオーストラリア, ニュージーランドのいずれか, a~cは、機械類, 木材, 金（非貨幣用）のいずれかである。Iとcに当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、ア~エから一つ選び、記号で記せ。

表 オーストラリアとニュージーランドの輸出と輸入の上位5品目（2019年）

	I		II	
	輸出	輸入	輸出	輸入
1位	鉄鉱石	b	酪農品	b
2位	石炭	自動車	肉類	自動車
3位	a	石油製品	c	原油
4位	肉類	医薬品	野菜・果実	石油製品
5位	b	原油	b	衣類

(「世界国勢図会 2021/2022」より作成)

- | | |
|---------------|-------|
| ア. I オーストラリア | c 機械類 |
| イ. I オーストラリア | c 木材 |
| ウ. I ニュージーランド | c 機械類 |
| エ. I ニュージーランド | c 木材 |

(3) 次のア～エは、オーストラリアに関する出来事である。ア～エを古いものから年代順に並びかえ、記号で記せ。

- ア. オーストラリア連邦が成立した同じ年に、オーストラリアは移民制限法を発布した。
- イ. オーストラリアは非白人への法的差別を撤廃した。
- ウ. オーストラリアでゴールドラッシュが始まった。
- エ. オーストラリアで第1回アジア太平洋経済協力会議を開催した。

6 次の問いに答えよ。

高等学校学習指導要領（平成30年7月）地理歴史科の「地理総合」の「地図や地理情報システムと現代世界」において、「国家間の結び付き」を扱うとした場合、あなたならどのような学習指導を展開するか、主題と問いを設定し、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための工夫を取り入れた学習指導の展開例を記せ。その際、日本の貿易の様子を表した次の資料1、資料2の二つを活用して、学習指導を展開せよ。

資料1 主な貿易相手国・地域への輸出額の推移（単位 億円）

1980年	2000年	2018年
アメリカ合衆国 (71,181)	アメリカ合衆国 (153,559)	中国 (158,977)
西ドイツ (13,006)	台湾 (38,740)	アメリカ合衆国 (154,702)
韓国 (12,251)	韓国 (33,088)	韓国 (57,926)
台湾 (11,687)	中国 (32,744)	台湾 (46,792)

資料2 主な貿易相手国・地域からの輸入額の推移（単位 億円）

1980年	2000年	2018年
アメリカ合衆国 (55,581)	アメリカ合衆国 (77,789)	中国 (191,937)
サウジアラビア (44,279)	中国 (59,414)	アメリカ合衆国 (90,149)
インドネシア (30,044)	韓国 (22,047)	オーストラリア (50,528)
アラブ首長国連邦 (18,504)	台湾 (19,302)	サウジアラビア (37,329)

（資料1、資料2は「数字でみる日本の100年 改訂第7版」より作成）

受検番号		氏名		※	
------	--	----	--	---	--

----- 切り取らないこと -----

令和5年度採用 山梨県公立学校教員選考検査 ※

高等学校 地理歴史（地理） 解答例

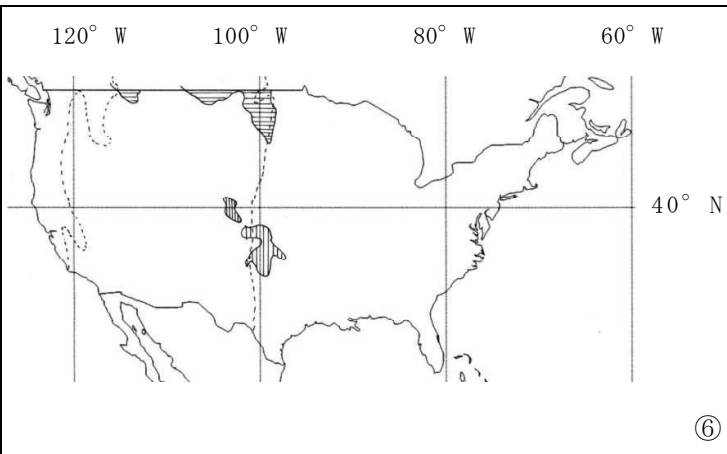
1	(1) ヒートアイランド現象	(2) フェアトレード	(3) カナート	(4) 科挙
	(5) バグダード	(6) ミレー	(7) 新古今和歌集	(8) 天正遣欧使節
	(9) 日清修好条規	(10) OPEC	②×10	

2	(1)	社会増加は、ある地域においては、流入人口と流出人口との差によって生じる人口増加のことをいう。一方、自然増加は、出生数と死亡数との差によって生じる人口増加のことをいう。(83字)	⑥ 85字
---	-----	--	-------

(2)	荒廃したインナーシティが再開発され、建物がリニューアルされることによって、特に若者を中心とする比較的裕福な人が流入する現象のことをいう。(68字)	⑥ 70字
-----	---	-------

3	(1)	あ	等角 ②	い	永久凍土 ②	う	ポドゾル ②	
	(2)	X	洪水浸水想定区域 ①	Y	土砂災害警戒区域 ①			
		地図	ハザードマップ ②					
	(3)	ア・ウ		完全解答②				
	(4)	a	タイ ②	c	ナイジェリア ②			
(5)	国際的な農業機関で開発された高収量品種の導入を中心に、発展途上国の稲や小麦などの収穫量を飛躍的に増大させた技術革新のことである。ただし、その成果を上げるには、化学肥料や農薬などへの多くの支出が必要であるため、農民の間の経済的な格差を広げた。							⑦

4	(1)	アジア ③
	(2)①	ア ②

<p>(2) ②</p>		<p>【説明】 冬小麦は秋に種をまき初夏に収穫する。春小麦は冷涼な地域で栽培され、春に種をまき秋に収穫する。</p> <p style="text-align: right;">④</p>
<p>(3)</p>	<p>メサビなどの鉄鉱石，アパラチア炭田の石炭など，豊富なエネルギー・鉱産資源が<u>五大湖</u>の水運で結びつけられたため。（54字）</p> <p style="text-align: right;">⑤ 55字</p>	

5

<p>(1)</p>	<p>羊は乾燥に強い家畜であり，その羊が放牧されている南島東側は，南北につらなるサザンアルプス山脈の東側であり，偏西風の風下で乾燥しているため。（69字）</p> <p style="text-align: right;">⑥</p>	
<p>(2)</p>	<p>イ ②</p>	<p style="text-align: right;">75字</p>
<p>(3)</p>	<p style="text-align: center;">ウ → ア → イ → エ</p> <p style="text-align: right;">完全解答③</p>	

6

<p>主題を「貿易相手国の変容とその要因」とする。異なる年次にわたる日本の主要な貿易相手国を示した複数の地図を提示して、「日本の貿易相手国はどのように変化してきたのだろうか」、「変化した理由としてどのようなことが考えられるだろうか」といった問いを立てて，GISを活用して主要な貿易品について異なる年次の日本の貿易相手国を示した地図を作成し，可視化された情報を基に考察したり推察したりしたことを文章にまとめたり，作成された資料を基に発表したりするといった学習活動を展開する。</p> <p style="text-align: right;">⑭</p>
--